作成日；2009年11月20日
改訂日；2009年12月28日

化学物質等安全データシート

１．化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称　：ボンドアロンアルフア　プライマー
会　社　名　：東亞合成株式会社
住　　所　：東京都港区西新橋１－１４－１
担　当　部　門　：機能樹脂事業部
電　話　番　号　：03-3597-7275
ＦＡＸ番号　：03-3597-7297
緊急連絡先の電話番号　：03-3597-7275（機能樹脂事業部接着剤グループ）
推奨用途及び使用上の制限：ボンドアロンアルフア　プラスチック用専用の接着増強剤。体内に埋植、注入、または体内に残留する用途へは使用しないこと。

２．危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響　　危険有害性の分類；ＧＨＳ分類基準に該当する。

特有の危険有害性

物理的及び化学的危険性：　引火しやすい液体、空気との爆発性混合物を形成しやすい。
人の健康に対する有害性：　蒸気を吸引したとき、麻酔作用を示し、頭痛、睡気、吐気、食用不振などの症状を起すことがある。
環境汚染性　：　情報なし。

【ＧＨＳ分類】

物理化学的危険性

火薬類	：分類できない
可燃性・引火性ガス	：分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	：分類対象外
支燃性・酸化性ガス	：分類対象外
高圧ガス	：分類対象外
引火性液体	：区分２
可燃性固体	：分類対象外
自己反応性化学品	：分類対象外
自然発火性液体	：区分外
自然発火性固体	：分類対象外
自己発熱性化学品	：分類できない
水反応可燃性化学品	：分類対象外
酸化性液体	：分類対象外
酸化性固体	：分類対象外
有機過酸化物	：分類対象外
金属腐食性物質	：分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	：分類できない
急性毒性（経皮）	：分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	：分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	：分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：分類できない（粉じん）、分類できない（ミスト）

皮膚腐食性・刺激性	：区分２
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分２Ａ－２Ｂ
呼吸器感作性	：分類できない
皮膚感作性	：分類できない
生殖細胞変異原性	：分類できない
発がん性	：分類できない
生殖毒性	：分類できない
特定標的臓器･全身毒性（単回暴露）	：区分１（全身毒性） 区分３（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器･全身毒性（反復暴露）	：区分２（肝臓）
吸引性呼吸器有害性	：区分１

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	：分類できない
水生環境慢性有害性	：分類できない

【ＧＨＳラベル要素】

絵表示

注意喚起語　　：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気
皮膚刺激
重篤な眼への刺激
臓器（全身毒性）の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気またはめまいのおそれ
長期または反復暴露による臓器（肝臓）の障害
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

【安全対策】

・使用前に取扱説明書またはＭＳＤＳを入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・容器を密閉しておくこと。
・アロンアルフアと混合すると、白煙を上げて発熱反応するので、決して混合しないこと。
・熱、火花、裸火、高温のものなど着火源から遠ざけること。
・必要に応じて保護手袋及び保護眼鏡、保護面を着用すること。
・静電気放電に対する予防措置を講じること。
・火気を発生しない工具を使用すること。
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。
・ミスト、蒸気を吸入しないこと。飲まないこと。
・換気の良い場所でのみ使用すること。

【救急処置】

・火災の場合には、消火に乾燥砂、粉末、二酸化炭素（炭酸ガス）などの消火剤等を用いること。

・皮膚（または毛）にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーによる多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。硬化物が眼球を傷つける可能性があるため、目をこすったり、触ったりなど自分で剥がそうとせず、医師の診断／手当てを受けること。

・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で安静・保温に努め、直ちに医師の処置を受けること。

・飲み込んだ場合：直ちに医師の診断を受けること。

・取り扱った後、手を洗うこと。口をすすぐこと。

【保管】

・直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所に貯蔵すること。

・火気厳禁。

・他の容器に移し替えないこと。

・容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

・アロンアルファへの影響を避けるため、アロンアルファと離した場所に保管すること。

【廃棄】

・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

国/地域情報

消防法：危険物第４類 第１石油類 非水溶性 危険等級Ⅱ

毒物及び劇物取締法：該当しない。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物製品

化学名又は一般名　：ヘプタン溶液

別名　：特になし

成分および含有量　：①ヘプタン　98%以上

②表面改質剤他

化学式または構造式　：①C_7H_{16}

②企業秘

官報公示整理番号　：化審法・・・　収載済み

安衛法・・・　収載済み

ＣＡＳ Ｎｏ．　：①142-82-5

②企業秘

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：なし

４．応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の手当、診断を受けること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。吐かせないこと。医師の手当、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状：吸入すると、咳、頭痛、めまい、し眠、吐き気。
皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、発赤。
眼に接触すると、発赤、痛み。
飲み込むと、灼熱感、嘔吐、下痢、腹痛、錯乱、めまい、意識喪失。
症状は遅れて発現することがあり、医学的な経過観察が必要である。
最も重要な兆候及び症状：情報なし。
応急措置をする者の保護：火気に注意する。
有機溶剤用の保護マスクが有ればそれを着用する。
救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

５．火災時の措置

消火剤：　小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤
大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤：　棒状注水
特有の危険有害性：極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
引火性の高い液体及び蒸気。
特有の消火方法：・引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。
・移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
・付近の着火源になるものを速やかに取り除く
・漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
・作業者は適切な保護具（８．ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、
・眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
・適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
・漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
・風上に留まる。低地から離れる。
・密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項：
・河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
・環境中に放出してはならない。
回収：
・保護具、保護衣を着用し、付近の着火源となるものを速やかに取り除き、布やウエスで吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。回収後、廃棄処理する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：
・危険でなければ漏れを止める。漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
二次災害の防止策：
・すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
床等にこぼしたら拭き取るか掃除をする。
取扱い後は、手洗い、うがいおよび洗顔を充分に行うこと。

局所排気・全体換気：通常の使用においては必要なし。換気の良い場所で使用すること。

安全取扱い注意事項：
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
・眼への刺激性があるので眼に触れないようにする。
・眠気又はめまい、呼吸器の刺激、器官の損傷のおそれがあるので、本製品に接触、吸引、飲み込みをしてはならない。
・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
・容器を転倒させ、落下させたり衝撃を加えるなど乱暴な取扱いをしてはならない。
・換気の良い区域でのみ使用すること。
・接触、吸入又は飲み込まないこと。眼に入れないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・環境への放出を避けること。

接触回避：『１０．安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策：・品質保証期間を越えて長期保管しないこと。
保管条件：　・熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。
・容器は火気を避けること。
・湿気の少ない冷暗所に保管すること。
混触危険物質：『１０．安定性及び反応性』を参照。
容器包装材料：消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
容器材質；ガラス、ポリオレフィン

８．暴露防止及び保護措置

設備対策：換気を十分に行うこと。

暴露限界値：
管理濃度：下記参照
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）
日本産衛学会（2005年版）：200ppm（ヘプタン）
ACGIH（2005年版）：TLV-TWA　400ppm（ヘプタン）
TLV-STEL 500ppm（ヘプタン）

保護具：作業内容によってより適切な保護具を選定する。帯電性に配慮する必要がある。
呼吸器の保護具　：　必要に応じフェイスマスク
手の保護具　：　必要に応じポリエチレン、天然ゴム製などの手袋
眼の保護具　：　必要に応じ保護眼鏡
皮膚および身体の保護具：　必要に応じ保護面（前面シールド）

衛生対策：取扱い後はよく手を洗うこと。

９．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	：	淡黄色液体
臭い	：	特徴的な臭気
pH	：	データなし
融点・凝固点	：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	：	98℃（ヘプタン）
引火点	：	-4℃（ヘプタン）
爆発範囲	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
蒸気密度（空気 = 1）	：	データなし
比重（密度）	：	0.69（20℃）
溶解度	：	水に不溶
オクタノール/水分配係数	：	データなし
自然発火温度	：	データなし
分解温度	：	データなし
臭いのしきい（閾）値	：	データなし
蒸発速度（酢酸ﾌﾞﾁﾙ = 1）	：	データなし
燃焼性（固体、ガス）	：	該当しない
粘度	：	データなし

１０．安定性及び反応性

安定性	：	通常の取扱いにおいては安定であるが、日光や空気にさらされると過酸化物を生成し爆発するおそれがある。
危険有害反応可能性	：	酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	：	加熱、高温へのばく露。
混触危険物質	：	酸化剤。
危険有害な分解生成物	：	情報なし。

１１．有害性情報

急性毒性：	経口	；データなし
	経皮	；データなし
	吸入	；データなし
皮膚腐食性・刺激性		：ヘプタンが区分２に分類されるため、区分２とした
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		：ヘプタンが区分２Ａ－２Ｂに分類されるため、区分２Ａ－２Ｂとした
呼吸器感作性又は皮膚感作性		：データなし
生殖細胞変異原性		：データなし
発がん性		：データなし
生殖毒性		：データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)		：区分１（全身毒性）に分類される化合物を１％以上含有する。また、ヘプタンは区分３（気道刺激性、麻酔作用）に分類されている。
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)		：ヘプタンが区分２に分類されるため、区分２とした
吸引性呼吸器有害性		：ヘプタンが区分１に分類されるため、区分１とした

１２．環境影響情報

生態毒性：急性；　情報なし
　　　　　慢性；　情報なし

残留性・分解性：　情報なし
生体蓄積性　　　：　情報なし
土壌中の移動性：　情報なし
他の有害影響　：　情報なし
環境基準　　　：　情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　　　：・取扱いおよび保管上の注意の項の記載による他、化学物質（有害物）に関する一般的な注意事項による。
・廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装：・容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
・空容器を廃棄する場合は、液抜きして内容物を完全に除去すること。
・地域で廃棄物規制が定められている場合は、それを遵守すること。

１４．輸送上の注意

国際規制　　海上規制情報 IMOの規定に従う。
UN No.： UN1206
Proper Shipping Name： HEPTANE
Class： 3　　Packing Group： II
Marine Pollutant： Not applicable

航空規制情報 ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.： UN1206
Proper Shipping Name： HEPTANE
Class： 3　　Packing Group： II

国内規制　　陸上規制情報 消防法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
国連番号： UN1206
品名： ヘプタン
クラス： 3　　容器等級： II
海洋汚染物質： 非該当

航空規制情報 航空法の規定に従う。
国連番号： UN1206
品名： ヘプタン
クラス： 3　　等級： II

特別の安全対策
・輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
・食品や飼料と一緒に輸送してはならない。　重量物を上積みしない。

１５．適用法令

労働安全衛生法：
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条、施行令第１８条）
：該当しない
名称等を通知すべき有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）
：ヘプタン
危険物・引火性の物（施行令別表第１第４号）

消防法： 第４類引火性液体、第一石油類非水溶性液体（法第２条第７項危険物別表第１）

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）：既存化学物質

化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）：　該当物質なし
毒物及び劇物取締法：毒物、劇物、特定毒物に該当しない
（第２条別表第一、別表第二、別表第三、指定令第１条、第２条、第３条）
（施行令別表第一、第二、施行規則別表第一、第二、第五）
港則法：危険物（引火性液体類）　（法第２１条２、施行規則第１２条、危規則第二条）
船舶安全法：引火性液体類（危規則第２，３条危険物告示別表第１）
航空法　：引火性液体（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）
大気汚染防止法：該当しない
高圧ガス保安法：該当しない
外国為替及び外国貿易法：輸出令別表第１の１６項（キャッチオール規制）
水質汚濁防止法：施行令第２条、第３条の物質に該当しない
下水道法：施行令第９条の四の物質に該当しない
火薬類取締法：火薬類に該当しない。（法第２条１項）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）：産業廃棄物（施行令第２条）
土壌汚染対策法：第２条第１項、施行令第１条の特定有害物質を含有しない
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律（オゾン層保護法）：
施行令別表の物質に該当しない
悪臭防止法：施行令第１条の特定悪臭物質に該当しない
家庭用品品質表示法：　品目；接着剤

１６．その他の情報

災害事例

該当する災害事例はない。

記載内容の取扱い

本化学物質等安全データシート（ＭＳＤＳ）は「ボンドアロンアルフア　プラスチック用」専用のプライマーに関する内容となっています。接着剤については「ボンドアロンアルフア　プラスチック用（接着剤）」のＭＳＤＳをご参照ください。
記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

以上